

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【公開番号】特開2016-28320(P2016-28320A)

【公開日】平成28年2月25日(2016.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-012

【出願番号】特願2015-128958(P2015-128958)

【国際特許分類】

G 06 Q 50/04 (2012.01)

G 06 F 12/00 (2006.01)

G 06 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 06 Q 50/04

G 06 F 12/00 5 1 4 M

G 06 F 12/00 5 4 5 M

G 06 F 13/00 5 2 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

製造装置により生成された履歴情報を、前記履歴情報の一部を記憶する記憶部を備えるサーバ装置によって処理する情報処理方法であって、

前記記憶部に記憶された履歴情報のうち、前記製造装置により生成された順番で前記サーバ装置に履歴情報を要求する第1クライアント装置により要求された履歴情報を、前記第1クライアント装置に転送する第1転送工程と、

前記第1転送工程で前記第1クライアント装置に転送された前記履歴情報を前記記憶部から削除し、前記製造装置から履歴情報を時系列に取得することにより、前記記憶部に記憶された履歴情報を更新する更新工程と、

前記サーバ装置に履歴情報をランダムに要求する第2クライアント装置により要求された履歴情報を、前記第2クライアント装置に転送する第2転送工程と、

を含み、

前記第2転送工程は、前記第2クライアント装置から要求された履歴情報が前記製造装置から未取得であり、且つ前記記憶部に記憶されていない場合、前記サーバ装置により前記製造装置から当該履歴情報が前記更新工程で取得されるまで待機した後に当該履歴情報を前記第2クライアント装置に転送することを特徴とする情報処理方法。

【請求項2】

前記更新工程は、前記記憶部に記憶された履歴情報の数が変わらないように、前記記憶部に記憶された履歴情報を更新することを特徴とする請求項1に記載の情報処理方法。

【請求項3】

前記更新工程では、前記記憶部に記憶された履歴情報のデータサイズの総量が閾値以下となる最大の数の履歴情報が前記記憶部に記憶されるように、前記記憶部に記憶された履歴情報を更新することを特徴とする請求項1に記載の情報処理方法。

【請求項4】

前記更新工程では、前記記憶部に記憶された複数の履歴情報のうち、前記製造装置で最も早く生成された履歴情報を削除することを特徴とする請求項1乃至3のうちいずれか1項に記載の情報処理方法。

#### 【請求項5】

前記更新工程では、未取得の履歴情報のうち前記製造装置で最も早く生成された履歴情報を前記製造装置から取得することを特徴とする請求項1乃至4のうちいずれか1項に記載の情報処理方法。

#### 【請求項6】

前記第2転送工程は、前記第2クライアント装置から要求された履歴情報が前記記憶部から既に削除された場合、前記第2クライアント装置に当該履歴情報を転送するよう前記製造装置に要求を行うことを特徴とする請求項1乃至5のうちいずれか1項に記載の情報処理方法。

#### 【請求項7】

前記第1転送工程および前記第2転送工程のうち少なくとも一方は、前記記憶部に記憶された履歴情報を加工して転送することを特徴とする請求項1乃至6のうちいずれか1項に記載の情報処理方法。

#### 【請求項8】

前記製造装置としてのリソグラフィ装置の履歴情報を処理することを特徴とする請求項1乃至7のうちいずれか1項に記載の情報処理方法。

#### 【請求項9】

請求項1乃至8のうちいずれか1項に記載の情報処理方法の各工程をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

#### 【請求項10】

製造装置により生成された履歴情報の一部を記憶する記憶部を含み、前記履歴情報を処理する情報処理装置であつて、

前記記憶部に記憶された履歴情報のうち、前記製造装置により生成された順番で前記情報処理装置に履歴情報を要求する第1クライアント装置により要求された履歴情報を、前記第1クライアント装置に転送する転送部と、

前記転送部により前記第1クライアント装置に転送された前記履歴情報を前記記憶部から削除し、前記製造装置から履歴情報を時系列に取得することにより、前記記憶部に記憶された履歴情報を更新する更新部と、

を含み、

前記転送部は、

前記情報処理装置に履歴情報をランダムに要求する第2クライアント装置により要求された履歴情報を、前記第2クライアント装置に転送し、

前記第2クライアント装置から要求された履歴情報が前記製造装置から未取得であり、且つ前記記憶部に記憶されていない場合には、当該履歴情報が前記製造装置から取得されるまで待機した後に当該履歴情報を前記第2クライアント装置に転送する、ことを特徴とする情報処理装置。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0006】

上記目的を達成するために、本発明の一側面としての情報処理方法は、製造装置により生成された履歴情報を、前記履歴情報の一部を記憶する記憶部を備えるサーバ装置によって処理する情報処理方法であつて、前記記憶部に記憶された履歴情報のうち、前記製造装置により生成された順番で前記サーバ装置に履歴情報を要求する第1クライアント装置により要求された履歴情報を、前記第1クライアント装置に転送する第1転送工程と、前記

第1転送工程で前記第1クライアント装置に転送された前記履歴情報を前記記憶部から削除し、前記製造装置から履歴情報を時系列に取得することにより、前記記憶部に記憶された履歴情報を更新する更新工程と、前記サーバ装置に履歴情報をランダムに要求する第2クライアント装置により要求された履歴情報を、前記第2クライアント装置に転送する第2転送工程と、を含み、前記第2転送工程は、前記第2クライアント装置から要求された履歴情報が前記製造装置から未取得であり、且つ前記記憶部に記憶されていない場合、前記サーバ装置により前記製造装置から当該履歴情報が前記更新工程で取得されるまで待機した後に当該履歴情報を前記第2クライアント装置に転送することを特徴とする。